

## 接尾辞か接尾語か

### —日本語学会 2013 年春季大会における田川拓海氏の質問に答へて—

次のように、甌島方言の向格形式・主題形式 (標準語の //名詞=ni, 名詞=wa// に対応; (=: 接尾語 (enclitic) の境界) は、名詞を曲用させたもののように映る (以下、甌島方言を里方言で代表させる):

- (1) a. /oomi oomii oomjaa / ‘海, 一に, 一は’  
b. /gomu gomii gomaa / ‘ゴム, 一に, 一は’  
c. /mame maeee mamjaa / ‘豆, 一に, 一は’  
d. /imo imee imaa / ‘芋, 一に, 一は’  
e. /jama jamjaa jamaa / ‘山, 一に, 一は’
- (2) a. /tooki tookii tookjaa / ‘時, 一に, 一は’  
b. /aaku aakii aakaa / ‘灰汁, 一に, 一は’  
c. /ike ikee ikjaa / ‘池, 一に, 一は’  
d. /koko kokee kokaa / ‘此处, 一に, 一は’  
e. /ika ikjaa ikaa / ‘イカ, 一に, 一は’

そこで、「甌島方言の名詞は曲用する」と考えてみる = 甌島方言の名詞を //語幹-接尾辞// と分析してみる (なお、論述にあたっては、/tooki, imo/ などを「汎用名詞」と、/tookii, imee/ などを「向格名詞」と、/tookjaa, imaa/ などを「主題名詞」と呼ぶ。正味、それぞれの呼称は何でも良い)。

(1, 2) から抽出される名詞接尾辞は次のとおり (-: 接尾辞の境界):

- (3) a. //i, -ii, -jaa//      b. //-u, -ii, -aa//      c. //-e, -ee, -jaa//  
d. //-o, -ee, -aa//      e. //-a, -jaa, -aa//

名詞のいずれの音形も、語幹末子音などからは予想できない。

しかし、(3) が示唆するとおり、向格名詞・主題名詞の音形は、汎用名詞の音形から予想できる。

∴ 向格名詞・主題名詞は汎用名詞に形態素 X が接尾したものと考えるのが妥当。

cf. 次のように、(4a) 主-属格名詞の音形は、汎用名詞に =N ~ =no が、(4b) 対格名詞のそれは、汎用名詞に =ba が接尾したものの:

- (4) a. /tooki=ba, tooki=N/      b. /imo=ba, imo=N/

cf. 汎用名詞が短母音以外で終わる場合、形態素 X の存在は明瞭:

- (5) a. /cuu, cuu&ni, cuu&wa/      b. /hoN, hoN&ni, hoN&na/

(&: 形態素境界 (接辞/接語/語幹の別は不問))

cf. 名詞の次末尾音節が /.—VV/ であるか否かは、汎用名詞が /V<sub>[HIGH]</sub>/ で終わるか否かに拠る (例外もいくつかはある (e.g. /mi.zu/ ‘水’)。なお、/goo.mu/ ではなく、

/go.mu/ であるのは、借用語であることに拠るのだろう):

- (6) a. /oo.mi aa.si haa.zi too.ki/  
b. /go.mu uu.su mi.zu aa.ku / (/uusuu/ ‘臼’)  
c. /ma.me a.se ka.ze i.ke /  
e. /i.mo pe.so mi.zo ko.ko / (/peso/ ‘臍’)  
f. /ja.ma ka.sa a.za i.ka / (/aza/ ‘ホクロ’)

汎用名詞は自立的であるから、形態素 X は選択要素に過ぎない (=文法的には必ずしも必要ではない)。

そして、/omaidakee/ ‘お前だけに’ も /omaiidake/ ‘お前にだけ’ も適格。

∴ 形態素 X は接尾語。